

みのりみのるプロジェクトとは？

生産者と消費者がつながる場を広げ、日本農業への理解を醸成するとともに、外食産業における国産農畜産物の利用拡大を促進するため、そのモデルとなる国産食材 100%による飲食店舗「みのりカフェ」「みのる食堂」を運営しています。

令和元年 12 月末日現在の出店数は、全国 15 店舗であり利用者の皆様からご好評をいただいております。



【商品のこだわり】

① 忙しい主婦を後押しできる総菜

夫婦共働きが増え、時短ニーズが高まっている現在、惣菜に頼ることもあるとの「サンキュ！全農部」メンバー。「料理の手間だけでなく、総菜を買う後ろめたさもなくなるような総菜がほしい」という意見を元に、家庭では作らないようなメニューを考案。



② 身体によくて、旬の食材を味わえるおいしい総菜

「安全・安心はもちろん。健康によい、旬の食材を食卓にも取り入れたい」という「サンキュ！全農部」メンバーの意見をもとに、筍・菜の花・キャベツ・ピーマンなど旬の食材を選定し、「もう 1 品ほしい」ときに買いたいメニューを考案。



③ 食欲をそそる商品展示

考案したメニューの試作をメンバーが試食して、「素材の味・彩り」にもこだわりました。さらに「商品 POP」についても議論し、「自分が買いたくなる」「美味しさが伝わる」ような POP を手作り。



④ 自分へのご褒美で納得できる価格

「安心して美味しい総菜はうれしけれど家計へ負担も大きい」という「サンキュ！全農部」メンバーの意見をもとに、「毎日頑張る自分へのご褒美」として納得できる価格帯を設定。また、家族でシェアできる大パックも用意。

【「サンキュ！全農部」活動事例】

全農と「サンキュ！」とは、2012年に「サンキュ！」のインフルエンサーのなかでも発信力の強いメンバーが集まり、「サンキュ！全農部」を結成し、読者である主婦とそこご家庭のために「食農育」をテーマに活動してきました。全農オリジナル商品のモニターをはじめとし、「親子料理教室」や「農業体験ツアー」など親子で実体験してもらい誌面や「サンキュ！」のブログ、Instagramなどで発信してきました。今年度は新たに商品開発にも取り組んでいます。

【活動の様子】

「サンキュ！」の「こちら食農育報道局」

<https://39.benesse.ne.jp/housekeep/cmp/tu/190930zennoh/>

とInstagram ハッシュタグ「#サンキュ全農部」でご覧いただけます。